心の花びら

孫の子のチューして帰る夏の道　小林合歓の会　山本 美代子
万緑や泣けぬ悲しみおそいくる　小林合歓の会　青山 スミ子
不可侵の拉致六万余凍土中（よしみど）／シベリアの帰還兵墓丈高し
真方　上久保 年治
この春も吾家忘れず帰り来し燕はしきりに庭をとびかふ
小林短歌会　宮窪 房子
咲きました貴方のサツキ根上りが主なくとも春お忘れず
野邊 ハル子

よもやまトーク 四方山話

7月号で防災メールの活用とありましたが、県外に住む娘も市の防災メールに登録しているので、新燃岳の噴火や、小林地区の大雨警報などの情報が来るので心配して電話をくれます。また、夜中の消防車のサイレンで目が覚め、「どこだろう」と不安になっても発生場所と鎮火のメールが届きますので安心です。
（YHさん・南西方）

●

忘れた頃にやってくる新燃岳の噴火にびっくりしました。火山灰が確認できるのは墓石です。案の定、火山灰が積もってザラザラしていました。久しぶりに墓石をきれいに洗いました。家に帰ってリュックサックに必要なものを入れて、非常持ち出しの準備をしました。（NMさん・真方）
　新燃岳が噴火する頻度は下がっていますが、この季節の風は小林市方向に吹くことが多く、噴火した場合は、噴石や火山灰が降ってくるおそれがあります。また、大雨や台風による災害にも注意が必要ですので、ご家庭での防災への備えを心がけましょう。

●

毎日暑い日が続きますね。先日、孫の保育園の夏祭りがあり、大人も子ども達も楽しみました。去年は口蹄疫で祭全般ができなかったので、今年の夏は、いろいろな場所でお祭ができるといいですね。（NHさん・南西方）
　週末になると、あちらこちらで祭が開かれ、花火の音も聞かれるようになりました。須木中であった納涼花火大会にも多くの人が楽しんでいました。

●

2月に具合が悪くなり病院へ行ったところ、身長に対して体重が重すぎると注意されました。食事改善で52㌔あった体重が47㌔まで減らすことができ、これからも維持していきたいと思っています。（OUさん・南西方）
　私もダイエットに取り組んでいますが、体重を減らすことはなかなか難しいですね。健康のためにも頑張ってみようと思います。

●

自分のめざす仕事に誇りを持ってやりぬく若者。養鶏農家の大畑正一さんの夢と希望に燃える姿に感動しました。これからも頑張ってふるさとの力になっていってください。
（みやま新太郎さん・南西方）
　大畑さんはSAPやのじり湖祭の実行委員など、地域での活動も頑張っています。これからの活躍も期待したいですね。

よもやまトーク
四方山話
このコーナーでは読者の皆さんからのお便りや投稿をお待ちしています。ハガキ、FAX、Eメールなどふるってご参加ください。

お便りまってます

①すくすく（3歳未満）…お子さんの写真に名前、ふりがな、性別、誕生日、コメント（40字以内）、保護者名を添えて送付ください。
②よもやまトーク…広報紙の感想や最近思うこと。短歌や俳句、イラストや写真など。
③疑問質問Q＆A…わからないことやちょっとした疑問、気付いたことなど。
※いずれも氏名・住所・連絡先を記入ください。左頁の広報クイズにもレッツトライ‼

ジオパーク発掘調査隊

ジオパークとは地質学的に重要で貴重、また美しい地球活動の遺産が多数存在する自然公園です。このコーナーでは、霧島山の歴史や魅力について紹介します。
　霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市1町を中心に構成する霧島ジオパーク推進連絡協議会は、世界ジオパークネットワークに加盟するための取り組みを推進していきます。

新燃岳の起源と享保の噴火

　今回は火山活動が活発になっている新燃岳の起源と最大といわれている享保の噴火に関する記録について紹介します。
　新燃岳の形成は約1万7千年前の韓国岳の形成と前後しており、1万5千年前には火山体が完成していたと考えられています。
　その後、歴史時代以前の数度の噴火を除くと数千年は火山活動が穏やかで、火山活動の再開は江戸時代であり、残されている記録の中で最大の噴火が1716年～1717年の享保時代の噴火です。
　都城島津家史料の「年代実録」では『両部岳の噴火を機に「新燃」と呼ぶ』という記録が残され、この噴火を機に「新燃」と呼ぶようになったことが確認できます。
　また、藩が編さんした「年代記」や「古今山之口記録」などからも、この噴火により消失した家屋604軒、けが人33人、死んだ牛馬405頭、田畑の損害6,240町などの被害を受けたことや現在はない国分松永川から土石流が発生したこと、あるいは、1717年正月以降に特に大きな被害を受けた高原や高崎の住民が都城市や三股町、小林市に避難し、全員が戻ったのは2年後の1719年であったことなどが確認できます。
　復旧作業についても、降灰除去の作業従事者に藩から「夫飯（ぶはん）（手当）」を支給されたことが記録に残されています。

【写真右】「両部岳」の噴火を機に「新燃」と呼ぶという記録＝享保期の噴火が新燃岳であることが分かります。
『年代実録』（都城島津家史料）

広報クイズ

総務課　TEL 23-0220

問題：おいしいぶどう、なしを堪能しよう。
種子田地区（北西方）、坂下地区（東方）に○○○○がオープン。　（ヒント：15ページ上段参照）

　クイズの答・今月号で興味を持ったコーナー3つ・住所・氏名・電話番号を明記して応募してください。今月は、抽選で5人に**図書カード**をプレゼント。
【締切】8月22日（月曜）〔当日消印有効〕
　応募は一人1枚まで。広報こばやし7月号のクイズの答えは「防災士」でした。32人から応募があり32人が正解。厳正な抽選の結果、正解者の中から5人に景品を贈りました。
【宛先】〒886-8501（住所不要）小林市総務課広報
FAX：22－4177　E-mail：info@city.kobayashi.lg.jp

人のうごき（小林市の人口）

人口	47,307人	（－11、－341）
男	21,924人	（＋10、－201）
女	25,383人	（－21、－140）
世帯数	19,921世帯	（－24、＋122）

平成23年7月1日現在現住人口　（前月比、前年同月比）
現住人口：国勢調査人口（実際に居住している人口）を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

←点線に沿って切り取ってください。（官製はがきでも可）。お便りはFAX、Eメールでも受け付けています。

POST CARD

お手数ですが50円切手をお貼り下さい

886-8501
小林市役所 総務課
広報こばやし編集室　行
（広報こばやし№65　2011.8月号）

フリガナ
ご氏名

（イニシャルまたはペンネームも記入ください）
ご住所　□□□-□□□□

電話　（　　）－（　　）－（　　）

興味を持ったコーナー3つ
①
②
③

クイズの答